

サブリーダーさんの紹介

令和3年度お世話になる5人のサブリーダーさんです。センター閉所時に緊急依頼があった場合はアドバイザーにかわり援助依頼を受け付けて調整したり、講座のお手伝いもさせていただきます。とても心強い協力会員さんでもあります。



谷さん
(寺本)



小野さん
(伊丹)



浅尾さん
(奥畑)



木山さん
(行基)



木場さん
(瑞ヶ丘)

ひとりで頑張らないで、みんなで子育てしましょう

事務局よりおねがい

こんな時は活動を控えましょう

・預けるこどもさんの体調がよくないとき



・預ける方も預かる方も同居のご家族や身近な人が体調不良の時



・こどもさんの通っている園や学校で感染者が発生した時



センターへ提出する書類に押印はなくなりました。

入会申込書・変更届・会員証再発行届・退会届・報告書です。ただし、車での援助の際、会員同士で取り交わす誓約書は押印をお願いします。また、職場や保育の無償化の際に報告書を提出される時、押印が必要な方はその旨を協力・両方会員さんにお伝えください。

活動後は活動報告書を作成し、依頼会員さんの署名をもらい月末締めで翌月5日までにセンターへ提出してください。

令和2年度の活動報告書がお手元にある方は、早急に提出をよろしくお願いいたします。

援助をしてくださっている協力・両方会員さんへ

コロナ禍の中の援助のため、協力・両方会員さんには援助の際に使っていただくようマスクと消毒液をお渡ししています。郵送が出来かねますのでご了承ください。なくなりましたら遠慮なくセンターまでご連絡ください。

事前打ち合わせ内容の用紙がダウンロードできるようになりました

伊丹市のホームページ
(http://www.city.itami.lg.jp/SOSIKI/KODOMO/KOSODATE/KOSODATE_SIEN/famisapo/index.html) からダウンロードできます。

お話し合わせの際に、必ずこの用紙に記入して、協力会員・両方会員さんにお渡しください。

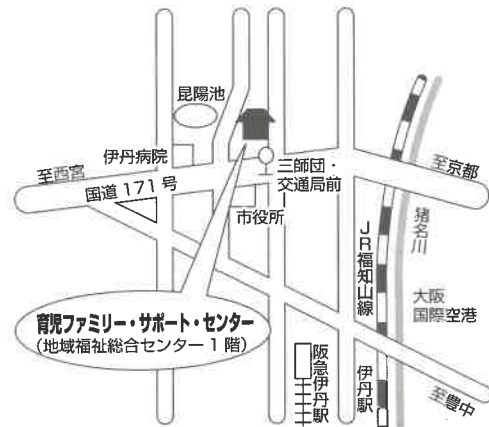
会員 随時募集中!!

年々援助の輪が広がっておりますが、中にはまだ育児ファミリー・サポート・センター事業をご存知ない方もいらっしゃると思います。今お近くに、支援が必要な方、また、今なら支援ができるという方がいらっしゃいましたら、このお便りと共にご紹介いただければありがたいと思います。よろしくお願いいたします。

お申し込み・お問い合わせ先

伊丹市育児ファミリー・サポート・センター事務局
〒664-0014 伊丹市広畑3丁目1番地
伊丹市立地域福祉総合センター1階
(いたみいききプラザ)
TEL・FAX 072-772-4560

開館時間 午前9時～午後5時まで
休館日 日・祝日、年末年始
交通機関 JR伊丹駅または阪急伊丹駅から市バス昆陽里行きで三師団・交通局前バス停下車すぐ



育児ファミリーサポート便り

発行年月
令和3年6月

第49号



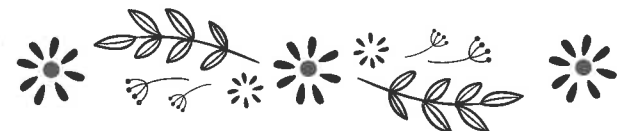
育児ファミリー・サポート・センターは、「育児の援助を受けたい人」と「育児の援助を行いたい人」がお互いに会員になって、子育て中の人や働く人の家庭を地域で支えるシステムです。

発行：伊丹市育児ファミリー・サポート・センター

申込随時 令和3年度 必須講座 第1回目

心の発達とその問題	心の発達とその問題	保育の心
「こどもの障がいの種類や特徴について」 講師 市こども発達支援センター 職員 令和3年 9:30 6月30日水 11:00 場所 いたみいききプラザ3階 会議室1	「障がいのあるこどもの関わり方」 講師 市こども発達支援センター 職員 令和3年 11:10 6月30日水 12:40 場所 いたみいききプラザ3階 会議室1	「育児支援者としての心構えと親子との関わり方について」 講師 市幼児教育推進課 保育士 令和3年 9:30 7月1日木 11:00 場所 いたみいききプラザ3階 会議室1
子育て支援サービスを提供するために 「実際に活動を行うにあたっての手順やルール、注意事項について」 講師 育児ファミリー・サポート・センター アドバイザー 令和3年 11:10 7月1日木 12:40 場所 いたみいききプラザ3階 会議室1	厚生労働省より通知があり、乳幼児の緊急救命講習会（AED、心肺蘇生等）及び事故対策講習会について、預かりを行うためには5年に1回の受講が必須となりました。受講済みの方も5年以内に再度受講いただきますよう、よろしくお願いいたします。	こどもの世話 「こどもが快適に過ごすための必要なケアと環境づくり」 講師 市健康政策課 保健師 令和3年 9:30 7月2日金 11:00 場所 いたみいききプラザ3階 会議室1
こどもの栄養と食生活 「こどもの栄養と食生活」 講師 市健康政策課 栄養士 令和3年 11:10 7月2日金 12:40 場所 いたみいききプラザ3階 会議室1	安全・事故 「乳幼児の緊急救命講習会」 講師 イタミライフキーパー 応急手当普及員 令和3年 9:30 7月3日土 11:00 場所 いたみいききプラザ3階 会議室3	安全・事故 「事故対策講習会」 講師 NPO法人 C・キッズ・ネットワーク 令和3年 11:10 7月3日土 12:40 場所 いたみいききプラザ3階 会議室1

各講座には定員がありますので事前にお申込みください ★参加費は無料
★一時保育あり（1歳以上就学前まで）託児料（1人300円 2人目以降150円）
*事前に事務局にご連絡ください *託児室は会議室2にて



ごあいさつ

桜の若葉がみずみずしい季節となりました。会員の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素から、育児ファミリー・サポート・センター事業に温かいご支援とご協力をいただき心より感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大で先行き不透明で不安な社会情勢のなか、育児の支援を行う協力会員のやさしさ、育児にとりくむママさんパパさんのひたむきな姿、子どもの笑顔に支えられています。

これから親になる人、初めて親になる人、

伊丹市教育委員会事務局子ども未来部子育て支援課長
伊丹市育児ファミリー・サポート・センター所長
橋本 佳子

子育て真っ最中の人、これからも様々な出会いと支え合いが円滑に行われるよう、スタッフ一同頑張っています。


人口減少と少子高齢化、新たな感染症の危機、デジタル技術の進歩など、私たちの暮らしは大きな変化に直面しています。それでも、子どもの笑顔と健やかな育ちを真ん中に据えて、市民相互のつながりや支え合いを変わらず大切に、会員の皆様と、ともに歩んでまいりたいと思いますので、引き続き、ご理解ご協力をお願い申し上げます。

令和2年度 必須講座 講座の報告

24名の方に受講いただき、その内9名が全受講されたので、修了証をお渡しいたしました。


令和3年 2月3日 水
心の発達とその問題
「子どもの障がいの種類や特徴について」
講師 市子ども発達支援センター 職員 西里枝子さん

障害とは、何らかの原因で心や身体の機能が上手く働かなくて、誰にでも生じる可能性のある身近なものであるということ。発達障害とは、自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害その他これに類する脳機能の障害であって、その症状が通常低年齢において発現するもので、それぞれの障がいの特性も学びました。




令和3年 2月3日 水
心の発達とその問題
「障がいのある子どもとの関わり方」
講師 市子ども発達支援センター 職員 西里枝子さん

「マイナス言葉をプラス言葉にかえる」にこんなときどうする」の2つのワークをしました。実際の援助活動にすぐに取り入れることができるので、みなさん真剣な表情でした。また、障害の有無にかかわらず、その子ども一人一人を認めてあげて、わかりやすい言葉がけをし、たくさんの人と生活することが大事で、ファミリーサポートは、地域社会とつながる大切な場であると学びました。



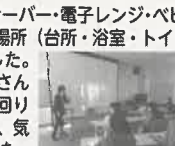
令和3年 2月4日 木
保育の心
「育児支援者としての心構えと親子との関わり方について」
講師 市幼児教育推進課 西保育所 副所長 荒巻三幸さん

子育てを取り巻く環境・コロナ禍での子育て・保育の状況話していただき、保護者や子どもとの関係づくりに、コミュニケーションの取り方(認めて、励ます)を教えていただきました。また、子どもと保護者の孤独・孤立を回避するために「あなたは一人じゃないんだよ、大変な時は、声をあげていいんだよ」と伝えること。子どもであっても一人の人間として接することが大切と学びました。



令和3年 2月4日 木
安全・事故
「事故対策講習会」
講師 NPO法人 C・キッズ・ネットワーク 何藤貞さん

身近なもの(ドラム式洗濯機・ウォーターサーバー・電子レンジ・ベビーカー・自転車・電池・ヘアドライヤー・家具等)や、家の各場所(台所・浴室・トイレ・ベランダ等)の危険な事例を具体的に教えていただきました。また、子どもの視野体験をし、子どもの視野の狭さにみなさん驚かされていました。知っているだけで事故を防げたり、先回りして予防策をとることの大切さを学び、知らなかったこと、気付いていないことの多さにびっくりされ、聞き入っていました。




令和3年 2月5日 金
子どもの世話
「子どもが快適に過ごすための必要なケアと環境づくり」
講師 市健康政策課 保健師 山野井美雅さん

月齢別の子どもの発達やそれにとまとう起こりやすい事故とその予防法について学びました。子どもは免疫力の予備力が少なく、自分で感染予防の行動がとれないので感染症にかかりやすい。感染予防するには大人の助けが必要であるため、手洗いや消毒方法について詳しく教えていただきました。最後に今どきの子育て事情も話していただきました。



令和3年 2月5日 金
子どもの栄養と食生活
「子どもの栄養と食生活」
講師 市健康政策課 栄養士 武田美奈さん

食中毒は、感染経路が様々なので、食中毒の原因、症状、予防法を教えていただきました。子どもの食事作りは、子どもの口の成長(歯の本数)にあわせることが大切で、3歳以下の子どもの食べにくいものやその調理法を教えていただきました。また、離乳食の進め方でアレルギーの出やすい卵の与え方は、現在5、6か月から少しずつ慣れさせていくと知りました。




令和3年 2月7日 日
安全・事故
「乳幼児の緊急救命講習会」
講師 イタミライフキーパー 応急手当普及員 宮崎涼二さん

心肺蘇生法を行うにあたっての具体的なポイントやAEDの使い方を教えていただいた後、3つのグループに分かれ、乳児・幼児・大人の人形を使って実習していただきました。実際に体験することによって、緊急時の必要性を実感され、みなさん熱心に取り組まれました。また、窒息の対処方法も教えていただきました。



令和3年 2月7日 日
子育て支援サービスを提供するために
「実際に活動を行うにあたっての手順やルール、注意事項について」
講師 育児ファミリー・サポート・センター アドバイザー

ファミリーサポートの制度や援助内容、補償保険について細かく説明しました。「こんな時、どうする?」では、安心・安全な援助活動を行うために様々な事例について真剣に取り組んでいただき、料金の計算も事例にそって実際に行ってもらいました。



スキルアップ講座

令和2年 11月28日(土)

「愛」ある時間 絵本の読み聞かせ ~寄り添うということ~

講師 NPO法人「絵本で子育て」センター 羽石憲子さん

気持ちをこめて読んでもらうと、子どもにとっては特別な時間となり、読んでくれている人の愛情を感じ、自己肯定感が育つ。絵本を通して寄り添うということは、愛情が土台となって言葉だけでは伝えられないものがあるということ、教えていただきました。羽石先生に読んでもらった最後の絵本「ぼくのきもちのはね」は、子どもたちへの寄り添い方のわかる絵本でした。



令和2年 12月11日(金)

こどもの症状別ケアと大人の健康管理

講師 市健康政策課 保健師 末次真紀さん 山本春佳さん

こどもの症状別ケアでは、腹痛・発熱・けいれん・誤飲・外傷・頭の打撲について、症状やどういふところを観察すればよいか、病院に行く目安等を、具体的にわかりやすく話していただきました。受講者一人一人体組成計で測定し、データを見ながら健康状態の見方を確認し、食事方法や自宅でできるストレッチ等で体調を整えることも教えていただきました。



令和3年 1月19日(火)

子育てストレスに対応して子育てを楽しむ

講師 女性ライフサイクル研究所 Felien 森崎和代さん

子育てに対してストレスがあっても当たり前。子どもの問題行動は、子どもがSOSを出しているのだから、そのサインに気付いてあげる。問題行動の出ている時に子どもに伝わりやすい言葉がけを具体的に教えていただきました。人間の土台(乳幼児期)の基本的信頼を育むためには「あなたが大切よ」と伝え「私は大切なんだ」と伝えることが大事と学びました。「子どもも大事だけどお母さんも大事よ」「一人で頑張らないで」「誰かに話して助けを求めていいのよ」「自分をほめてね」の先生の言葉にみなさん、表情が和らいでいました。



令和3年度 スキルアップ講座のお知らせ

みなさまのご参加を心よりお待ちしております。



心がつながる絵本の読み聞かせ ~言葉と声のぬくもりをあなたに~

令和3年 9月4日(土) 10:00~12:00

絵本を読んでもらう心地よさを体験し、コロナ禍の今、絵本を通して心と心がつながることや絵本の大切さを学びましょう。

場所 いたみいきいきプラザ3階 会議室1
講師 NPO法人「絵本で子育て」センター 羽石 憲子さん
定員 15名
定員 10名(先着順、要予約)1歳以上就学前 1人 300円

申込 育児ファミリー・サポート・センター TEL 772-4560
受付は、令和3年8月2日(月)からです。

「ファミリーあんしん防災講座」あなたの命が家族を守る!

令和3年 9月26日(日) 10:00~12:00

いつ災害がおこるか分かりません。地震のしくみや災害に備えて今できることを学びましょう。

場所 いたみいきいきプラザ3階 会議室1
講師 イタミライフキーパー 防災士・応急手当普及員 宮崎 涼二さん
定員 15名
定員 10名(先着順、要予約)1歳以上就学前 1人 300円

申込 育児ファミリー・サポート・センター TEL 772-4560
受付は、令和3年8月16日(月)からです。

令和2年度 活動報告

会員数	
依頼会員	1,746人
協力会員	416人
両方会員	209人
合計	2,371人

活動内容BEST5		
1位	保育施設までの送迎	382件
2位	保育施設の保育開始前や保育終了後の子どもの預かり	364件
3位	保育所・幼稚園・学校等の休みの時の援助	241件
4位	子どもの習い事等の場合の援助	211件
5位	小学校、養護学校等登校前の援助(送迎・預かり)	206件
		総件数 2,078件